

6/16 人権擁護の功績に感謝

人権擁護委員退任で法務大臣から感謝状



感謝状を贈呈された岩瀬國興さん（中央左）

人権擁護委員を令和2年3月31日付で退任した岩瀬國興さん（横堀）の長年にわたる人権思想の普及高揚に対し法務大臣から感謝状が贈られ、熊本地方法務局阿蘇大津支局長 錦戸真理氏から伝達されました。

岩瀬さんは平成17年1月〜令和2年3月までの5期15年にわたって人権に関する相談や啓発活動に尽力しました。

岩瀬さんは「15年間務め上げることができたのは皆さまのおかげ。今後は人権擁護委員としての経験を社会に反映させていきたい」と話しました。

6/16 小中学校で役立てて

阿蘇郡市薬剤師会が消毒用エタノールを寄付



阿蘇郡市薬剤師会の玉飼会長（右）と阿南教育長（左）

阿蘇郡市薬剤師会（玉飼博之会長）が市教育委員会を訪れ、消毒用エタノール36リットルを阿南教育長に手渡しました。

消毒用エタノールは小国町の河津酒造が生産する代用品で、玉飼会長は「正規品は新型コロナウイルス感染症の影響で流通が少なく、手に入れるのは非常に難しい。消毒としての使用には全く問題ない」と話しました。

消毒用エタノールは、市内の全小中学校で、健康診断に使う検査器具の消毒等に使用されるということです。

6/29 阿蘇税務署が感謝状

市の e-TAX 積極対応を評価



松田阿蘇税務署長（左）と和田副市長（右）

阿蘇税務署（松田謙逸署長）は、2019年度分の確定申告のデータ引き継ぎを積極的に実施し、住民サービスの向上に貢献したとして、阿蘇市に感謝状を贈りました。

データ引き継ぎは、地方自治体で受け付けた確定申告データを税務署に送信する仕組みです。データ引き継ぎには還付金の早期還付、源泉徴収票などの添付省略、自治体や税務署の事務量やコスト削減といった利点があり、阿蘇市では相談件数1898件のうち約98%のデータ引き継ぎをしました。

6/25 青少年健全育成に尽力

阿蘇市青少年健全育成市民会議から表彰



山本直樹さん（中央右）と阿南米夫さん（中央左）

青少年の健全育成活動に尽力したとして阿蘇市青少年健全育成市民会議から阿南米夫さん（滝水）と山本直樹さん（的石）が表彰を受けました。

阿蘇市青少年健全育成市民会議は、行政区長やPTA等からなる組織で、次世代を担う青少年の健全な育成のためにさまざまな取り組みを行っています。

阿南さんは滝水区長として平成18年から現在まで、山本さんは的石区長として平成26年から今年3月まで多大な貢献をされました。その功績が評価され今回の表彰となりました。



7/6

七夕に願いを込めて

阿蘇市地域婦人会が一の宮小で七夕飾り



阿蘇市地域婦人会と子どもたち

阿蘇市地域婦人会（神保京子会長）が一の宮小を訪れ、1年生80人と七夕の飾りつけをしました。

児童たちは婦人会が準備した色鮮やかな七夕飾りを一つずつ笹に飾りつけていきました。願い事を書いた短冊には「新型コロナウイルスが収まりますように」「ゲームを買ってもらえますように」といった願い事が書かれました。

婦人会は波野小にも七夕飾りを寄贈しました。神保会長は「感染症で子ども達は退屈しているのでは。少しでも楽しんでほしい」とコメントしました。

7/1

安心安全な地域へ

「社会を明るくする運動」実施中



市長にメッセージを手渡す小野分会長（中央）

犯罪や非行のない地域社会の実現を目指すため第70回「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ内閣総理大臣および熊本県知事からのメッセージが阿蘇地区保護司会阿蘇中部分会長小野眞由美氏から阿蘇市長に伝達されました。

メッセージでは安心安全な地域づくりのため犯罪や非行を防止し、犯罪や非行からの立ち直りを地域で支えあうことのお願いが伝えられました。街頭啓発活動の出発式は中止になりましたが例年どおり啓発チラシの配布・回覧等の活動は行われました。

7/12

豪雨災害犠牲者に黙とう

九州北部豪雨から8年目の追悼行事



追悼のことばを述べる佐藤市長

甚大な被害をもたらした九州北部豪雨から丸8年を迎えた7月12日に市役所大会議室で犠牲者のご冥福を祈りました。

九州北部豪雨では死者・行方不明者22人の人的被害のほか、各地域で土砂崩れや浸水被害などが発生しました。

追悼行事には犠牲者のご家族をはじめ35人が参列。防災無線のサイレンに合わせ黙とうをささげた後、佐藤市長が「一人一人の防災意識の高揚を図り、人命・財産を守る安心・安全なまちづくりに向け、今後も前へ進んでいく」と決意を述べました。

7/11

安全運転に気をつけて

阿蘇市地域婦人会が波野小に自転車を送る



自転車を寄贈した阿蘇市地域婦人会波野支部

阿蘇市地域婦人会波野支部（佐藤良子支部長）が波野小を訪れ、自転車などを寄贈しました。

阿蘇市地域婦人会は子ども自転車教室など交通安全のための活動を積極的に行っており、今回はその一環として自転車1台とノート47冊、赤青鉛筆47本を寄贈しました。佐藤支部長は「学校のいろいろな場面で活用してほしい」と話しました。

田辺敬一校長は「交通安全教室や自動車教室、その他行事で主に使う予定。交通安全の啓発のためにしっかりと活用したい」と感謝しました。